

深南部 池口岳～鶏冠山（50周年記念山行）

2015年10月17日(土)～18日(日)

メンバー：池田T（リーダー・記録）、やまたくお(車両)、ヤマメ、神谷（食料）

当初の計画では鶏冠山から三又山、中ノ尾根山と縦走して抜けるつもりだったが、直前に白倉山林道が通行止めの情報をキャッチ。池口からのピストンに変更した。結果、鶏冠山までしか行けなかったが、「笹の平」での幕営など深南部独特の雰囲気をも4人で味わえたのは良かった。自然林の紅葉を楽しめたのも良かった。

10/17(土) 晴れのち曇り 一時雨

池口岳の西尾根はヒノキの植林帯から始まって、カラマツ、ブナ、モミ、コメツガ、シラビソと標高を上げるにつれて植生の移り変わりを楽しめる。



標高1500m付近ではブナが見られる。紅葉はまだ。

標高2000mぐらいまでは概ね緩やかで若干のアップダウンがある。2000mを越えると登りが急になってくる。



トラロープが張られている岩場。

加加森山への分岐を過ぎると一旦登りが緩やかになり、もうひと踏ん張りして池口岳北峰(2392m)に到着。

ここから先はメンバー全員初めてのルートである。南峰へは100mほど下って登り返す。南峰まで足を延ばす人は少ないのであろう。踏み跡が今までよりも薄くなる。



池口岳北峰からの急な下り。笹の中のトレールを降りていく。

基本的には稜線上を歩いて行くが、西側が崩れていたり、稜線の真上は密な樹林で歩きにくい箇所は東側をトラバースする。



コルから南峰への登り返し。後ろは北峰。

南峰(2376m)が近づくと傾斜が緩くなり、鶏冠山方面の分岐がある。(標識は無いが、木に赤ペンキで示されている。)

疲労の色が濃いやまたくおを除く3名で南峰をピストンした。



池口岳南峰にて。展望は無し。

鶏冠山へは地形図に示されている県境のラインに沿って歩いて行く。基本的には尾根の上に踏み跡がある。ただし標高2106m地点あたり(笹の平)は尾根が広く、複数の踏み跡(獣道?)が入り乱れている。

途中から雨がぱらついて来たこともあり、鶏冠山とのコルの手前、標高2080mあたりの丘の上にテントを張った。

笹が生えていない平らなオープンスペースを探したが結局見つからず、膝下ぐらいの笹の上にテントを載せた形になった。

荷物と張り綱でテントを押さえて我々の一夜の宿が完成した。

水場であるが、コルから沢地形に沿って下って行くときに水流が出てきた。稜線上から往復30分程度である。

夕食のメインメニューは神谷が用意した具だくさんのトン汁と炊き込みご飯。大いに満足できる内容であった。

夜半には女性の悲鳴にも似た鹿の遠吠えが何回も聞こえた。まさに深南部らしい夜であった。

<タイム>

池口岳避難小屋6:00 – 池口岳北峰11:42~12:12 – 池口岳南峰13:00 – 笹の平14:23 (幕営)

10/18(日) 晴れ

明るくなってからテントを出発。帰りの時間を考えて引き返しのタイムリミットを約2時間後の7:30とした。

まずは鶏冠山を目指す。笹の中の踏み跡を探しつつコルに下り、徐々に進路を南に向けていく。

鶏冠山の広い北斜面には踏み跡は無く、歩き易そうな所を選んで山頂に向かって適当に登っていく。

登り詰めた所に鶏冠山の山頂を示す標識があった。西側には犬切尾根(鶏冠山西尾根)からとみられる踏み跡があった。



鶏冠山の北峰で朝日を浴びる。

小休止後、鶏冠山の南峰に向かう。南に伸びる尾根に沿って踏み跡がついている。下りは緩やかだったが、コルからの登りがキツかった。途中にはロープが垂れている所もあり、かなり緊張した。やっと登り切ったと思ったら、本当のピーク(南峰)がこれまた険しそうな岩尾根とギャップの向こうに見えて、一時は進むのを諦めかけたが、ここで撤退したら後が大変になる(50周年記念山行ルートをつなぐために誰かが再び来ることになる)ので 池田Tと神谷の精鋭(?) 2名だけでも先に進むことにした。実際には岩尾根の北側にトラバース道があったので これを使い、コルに降りてから南峰の急斜面を登り切って頂上に至った。



鶏冠山の南峰(2248m)にて。やはり展望は無し。

証拠写真を撮って早々に下山開始。登りでは分かりにくかった踏み跡も上から見下ろすと何となくあるのが分かる。さらには一つ手前のピーク(下の写真)を巻く道も発見。往路では全く気が付かなかった。これも往復したからこそ分かったルートであった。



南峰手前のニセピークを振り返る。正に鶏冠のように赤く染まっている。

パーティーとしては南峰に到達したので、最低限のことは出来たとの思いで北峰に登り返す。再び立った北峰の山頂では ヤマメが生のリングをザックから出して皆に振る舞ってくれた。果物の自然な甘さと水分で元気復活だ。



鶏冠山北峰からシラビソの森を抜けて笹の平に向かって下って行く。

テントに戻って撤収開始。見晴らしの良い別天地ともお別れだ。



笹の平にて。中央アルプス方面を眺める。

後は往路を辿って池口岳に登り返し、西尾根を下る。



標高1600m付近は紅葉まっさかり。

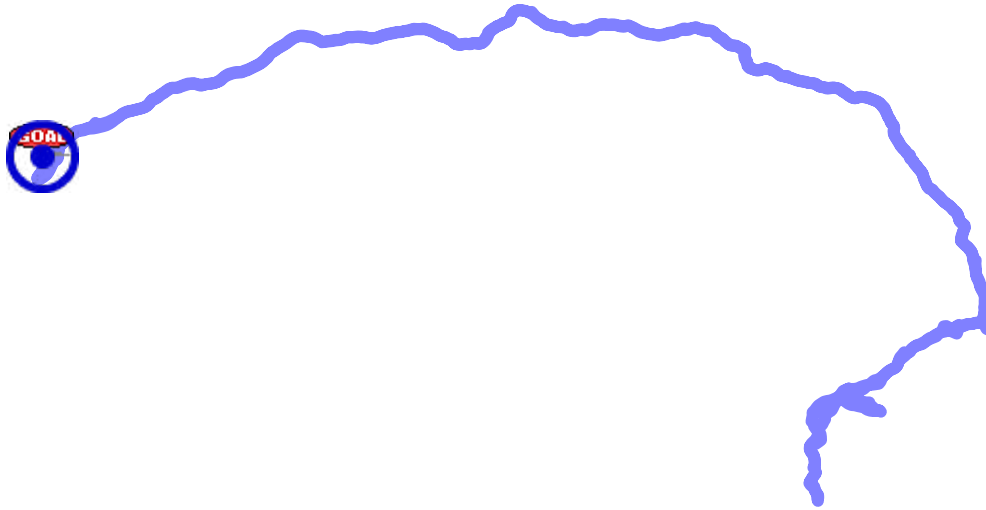


カラマツ広場（勝手に名づけた）。

<タイム>

幕営地5:40－鶏冠山北峰6:10－鶏冠山南峰6:54－鶏冠山北峰7:44～7:53－幕営地8:15
～8:55－池口岳北峰11:14～11:23－避難小屋15:38

【重要】 ルートラボは2020年3月末にサービスを終了します。
詳細は[こちら](#)をご覧ください。



(C)Yahoo Japan,(C)ZENRIN

2500 m

標高:1071m

0 m

YAHOO!
JAPAN

以上